

助かることと助けることのあいだを結ぶ 防災と減災のための リスクマネジメント

後半プログラム版

参加方法

講義（対面・オンライン）

場所：キャンパスプラザ京都2階第3会議室
1回単位での受講が可能です。

災害多発時代という表現を随所で見えるようになりました。そもそも日本は「災害列島」として、過去の災害の課題や教訓に学ぶ必要を訴える記事などもあります。とかく災害は天災か人災かの区別で語られる場合が多いものの、2011年の東日本大震災が発災した直後には哲学者の梅原猛さんが「文明災」という観点を提示し、新しい価値観で将来を展望する必要があると説いています。そこでこの講座では、災害を防ぐという防災の観点に加えて、災害発生時の被害が減る「減災」社会の実現に向けた工夫を誰もが重ねていくための発想と知識と心構えを身につけることを目指します。職場で、家庭で、また旅先などで、自らが助かり、他者を助けることができる知恵を共に学び、深めましょう。

日程

2025年11月29日（土）
12月13日（土）

- 受講のお申し込みは各講義日の5日前まで
- ワークショップは11月14日（金）まで

右記2次元コードより
お申し込みください。



(大学コンソーシアム京都HP)

学生は当日受講可（会場のみ）
オンライン受講は2日前までに
問い合わせ先まで要連絡

受講料

1回：1,000円（税込）[学生無料]

【オプション】ワークショップ：1,000円（税込）

大学コンソーシアム京都は、1994年に設立された全国初の大学間連携組織である「京都・大学センター」を前身として、1998年に産学公連携のもとで設立されました。現在では46の加盟大学・短期大学と自治体、経済団体が参画し、生涯学習などの教育事業のほか、学生支援事業や留学生誘致・支援事業等に取り組んでいます。

●講義概要

<後半プログラム> 1回から受講可

コーディネーター 山口 洋典 氏 (立命館大学共通教育推進機構教授)

日程	時間	テーマ	タイトル	担当	概要
11/29 (土)	10:00～ 11:30	【オプション】 防災まち歩きワークショップ		金 度源 氏 立命館大学 理工学部准教授	京都でも有数の歴史的な景観で知られる先斗町界隈を文化遺産防災の観点から探究します。 (定員20名、講義と別で要申込)
	13:30～ 15:00	レジリエンス	歴史的な町並みから学ぶ、そして備える	金 度源 氏 立命館大学 理工学部准教授	伝統的な知恵と近現代の防災技術を融合し、歴史都市や文化的景観を自然災害からどう守るかという地域デザインの課題を取り上げます。最新の研究成果をもとに、文化の継承と防災の両立を目指す視点を提示します。
	15:15～ 16:45	情報システム	わがこと意識を喚起する情報提示デザイン	泉 朋子 氏 立命館大学 情報理工学部教授	多くの観光客が訪れる京都では、大規模災害時に多数の帰宅困難者が発生することを想定し、安全な避難誘導の仕組みづくりが進められています。災害を「わがこと」として捉えてもらうための情報発信の工夫についても紹介します。
12/13 (土)	13:30～ 15:00	BCP (事業継続計画)	生命と生活と生計を守るための計画 (LCP) づくりの視点	諫山 憲司 氏 明治国際医療大学 防災救急救助研究所/ 保健医療学部教授	災害や感染症といった有事だけでなく、平時の暮らしを守るためのBCP(事業継続計画)について、基本的な考え方と実践的な視点を学びます。医療・介護・福祉分野の多職種連携や地域のつながりの重要性についても考えていきます。
	15:15～ 16:45	ボランティア	被災地のリレーのグループ・ダイナミックス	渥美 公秀 氏 大阪大学大学院 人間科学研究科教授	かつての被災者が他の被災地を支援する「被災地のリレー」の実践を取り上げ、地域間のつながりが持つ力とその仕組みに注目します。支援の経験がどのように次世代へと継承されていくかを研究成果とともに振り返ります。

●お申し込みにあたって

(1)受講対象

社会人(業種・職種・専門知識の有無は問いません。)

会社員、公務員、大学教職員、ボランティアスタッフ等へ受講を推奨します。

※大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生(ただし大学院・通信教育課程生等を除く)及び放送大学京都学習センター全科履修生は講義の受講料を無料とします。学生証をご提示ください。

(2)お申し込み後の対応について

講義中止の場合を除いて、受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。都合により講義の延期や中止、内容変更等が生じる場合がございます。変更の際には、大学コンソーシアム京都ホームページの「重要なお知らせ」及びお申し込み時のメールアドレス宛にご連絡いたします。

(3)京カレッジ会員について

お申し込み時に希望された方は、受講料のご入金確認後に京カレッジ会員証(会員費:無料)を発行いたします。京カレッジ会員の特典として、京カレッジ募集ガイドに記載されている各大学・短期大学の図書館が利用可能となります。(利用については、各館の規定や指示に従いご利用ください。)

※詳細は右記2次元コードよりご確認ください。

(4)お問い合わせ先

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る

キャンパスプラザ京都内 大学コンソーシアム京都「京カレッジ担当」

TEL: 075-353-9140 FAX: 075-353-9121

【お問合せ受付時間】 火～土曜 9:00～17:00

京カレッジ リカレント

検索 ▶▶▶▶



京カレッジ募集ガイド
図書館利用一覧



主催: 京都市・公益財団法人 大学コンソーシアム京都

協力: 立命館大学災害危機レジリエンス研究センター

発行: 京都市 総合企画局 国際都市共創推進室

京都市印刷物 第071210号 令和7年8月

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ

